

女子戦評

大会名 県民共済カップ第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦
日 時 令和3年10月30日～31日
会 場 カクヒログループスタジアム

女子決勝（10月31日）

青森西高等学校 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25-18 \\ 25-23 \\ 25-20 \end{array} \right\}$ 0 三沢商業高等学校

ファーストレフリー

渡邊 匠哉

セカンドレフリー

岡村 尚文

5年連続18回目の選手権大会出場を目指す青森西高等学校（以下青西）と17年ぶり3回目の出場を目指す三沢商業高等学校（以下三商）の対戦である。

第1セット、三商は瀧澤のサイド攻撃でリードを広げるが、青西も中田、澤野のスパイクが決まり逆転する。青西は堅い守りからコンビバレーにつなげ、点差を広げる。三沢商業も妻神のミドル攻撃が決まり追い上げを見せるが、青森西も川端のミドル攻撃が決まりリードを保つ。終盤お互い点数を取りあうが点差は縮まらず、青西が25-18で第1セットを先取する。

第2セット序盤、青西は宮古のミドル攻撃が要所で決まり青西がリードする。三商も粘り強いディグから瀧澤のサイド攻撃で加点し追いつくが、青西宮古の連続得点でリードを広げる。中盤以降、三商のブロックとディグが効果的に機能し、青西のミスを誘い三商が終盤1点差まで追いつけるが、最後も宮古のミドル攻撃が決まり、青西が25-23で第2セットも連取する。

第3セット、青西のリベロ鈴木が好守備でリズムを作り、澤野のサイド攻撃が連続で決まり青西がリードする。三商も小松のブロック、根岸・瀧澤のサイド攻撃が機能し、15-14と1点差まで追い上げ青西がタイムアウト。青西は宮古のミドル攻撃とブロックが決まりリードを広げ、三商の攻撃を阻む。三商は根岸、妻神の攻撃が決まり終盤2点差まで追いつくが、青西も宮古・平山が連続で得点して譲らない。最後は青西澤野のスパイクが決まり、青西が25-20で第3セットを取り、5年連続18回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 村元 直記